

仮想アース Crystal E Jtune の導入(6)(HP 収載)

—JBL4350A—

1. 始めに

光城精工の Crystal E の特別チューニング仕様の Crystal E Jtune の試聴を順次実施していきます。今回は、PC の USB ポートへの接続で JBL4350A のシステムにおける効果を確認します。

2. Crystal E Jtune の試聴方法

接続対象は、前報(2)のとおり、PC の USB ポートで NRF-005 を貼り付けた銅板に電解コンデンサーと抵抗を加えたものから Crystal E Jtune に交換しています。試聴音源は、STAGE+、Spotify、およびファイル音源から選んでいきます。

3. Crystal E Jtune の試聴結果

JBL4350A の再生は、[仮想アース Crystal E の導入\(23\)](#)の報告以降、しばらく行ってきておらず、上記の Crystal E Jtune の他、この間に実施してきたその他各機器への仮想アース設置や、MRF-005T 処理の効果も併せて確認することになります。

STAGE+からは、下記を試聴しました。

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

ベートーヴェン 後期ピアノソナタ

マウリチオ・ポリーニ (ピアノ)

.S.バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

シューベルトの「鱒」では、JBL では苦手なヴァイオリンなどの弦楽器の質感も問題なく、ピアノの響きやダブルウーファの受け持つコントラバスの量感が魅力的です。

ベートーヴェンの後期ピアノソナタでは、ポリーニの弾く Fabbrini の迫力ある表現は言うことがありません。

クリスマスオラトリオでは、ソプラノ、カウンターテノール、テノール、バスの歌唱がクリアーに、かつ豊かに会場内に響きます。イングリッシュバロックソロイストの古楽器の個々の質感の表現も十分です。

Spotify からは、下記を試聴しました。

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲集

Herriet Krijgh(チェロ)

Candida Thomson 指揮 Amsterdam Sinfonietta

J.S.バッハ リュート組

Alberto Grugnola(リュート)

J.S.バッハ Goldberg 変奏曲

家喜美子 (チェンバロ)

これらはいずれもバロック音楽でチェロ、リュート、およびチェンバロの繊細な表現を必要とするもので、JBL ではハードルが高いのですが、楽器の緻密な表現も十分であり、さらに通奏低音や個々の楽器の低音がクリアーに再生されています。

ファイル音源としては、小川理子トリオの 78 回転盤アナログからの 5.6MHzDSD 録音音源と菊池洋子の Goldberg 変奏曲のライブ配信の 5.6MHzDSD 録音音源を Hi-Res Editor により再生しましたが、ともに力強い打鍵がクリアーに再現できました。前者では、ベースの弾み具合やドラムスのアタック感も十分です。

4. まとめ

JBL4350A のシステムにおいて、これまでの一連の仮想アースと MRF-005T に加え、PC の USB ポートへの自作の仮想アースの接続から Crystal E Jtune への接続替えを実施した効果を認めました。

以上